

顕彰碑管理部会から 草刈・看板設置・ 冬囲い作業の報告



顕彰碑管理部会会員による草刈りの様子(左写真)と雪囲いの様子(右写真)



顕彰碑が建つ台山地区には、昨シーズンも2メートル近い雪が積まりましたが、4月初旬には若草も勢よく芽生え、冬囲いのブルーシートも早々に撤去でき、記念碑やモニメントが優々と姿を表しました。

顕彰碑管理部会のメンバーは、雪囲いの撤去と同時に周囲や記念碑等の清掃に汗し、また東由利総合支所の教育学習課の職員には、国道107号交差点付近から顕彰碑までの案内板も設置していただきました。

関係者一同、見学に訪れる方々に少しでも気持ちよく見て頂きたいとの思いで作業を行ったところです。

7月26日には草刈り作業を行い、メンバー全員で記念写真を撮りました。

また、東由利中学校の生徒さんたちも清掃活動に携わってくれました。別記で紹介しました。ありがとうございました。お礼を申し上げます。

今年の春・夏・秋もあつという間に過ぎ去り、11月25日には今シーズンの冬囲いを行ったことをご報告いたします。(顕彰碑管理部会・長谷山博昭会長)

ノーベル賞候補「世界の遠藤章博士展」開催



ノーベル賞の発表時期に合わせ、博士の生誕地である由利本荘市東由利のショッピングプラザ「ふれっそ」で、「世界の遠藤章博士展」が9月23日～10月11日までの期間で開催されました。協同組合東由利ショッピングプラザ(小松正二理事長)の主催で、郷土の先覚者である遠藤章博士の業績を讃え、同時に、ノーベル賞受賞を祈念した展示会となりました。期間中は、秋の行楽期間と重なり、買い物客の他、道の駅東由利に立ち寄る行楽客などが展示会場を訪れました。

東由利中学生今年も 記念碑清掃活動実施



東由利中学校では、東由利を代表する偉人である遠藤章博士の功績をたたえ、その意志を引き継ぎ、今年も5月から顕彰碑の清掃活動を行いました。全校を5つのグループに分け、10月まで毎月1回、輪番制で行いました。この活動を通して、遠藤章博士のように「夢を持ち、その夢に向かってひたすら努力する」生徒に育ててほしいと願っています。

機関紙編集部会
(文責・小野)



市文化交流館カダーレの「郷土の先人資料室」で開催したノーベル賞の発表に臨む会(10月3日・5日)

遠藤章博士の業績を讃え ノーベル賞発表に臨む会

毎年ノーベル賞の発表は10月、授賞式は12月に行われます。今年も遠藤章博士のノーベル賞受賞に大きな期待がもたれました。

顕彰会では、ノーベル賞医学・生理学賞の10月3日と、化学賞の10月5日に、それぞれの発表時刻に市文化交流館カダーレの「郷土の先人資料室」で、ノーベル賞発表に注目しました。

当日は、顕彰会の佐々田会長、小松、長谷山両副会長など役員5名と、顕彰会名誉会長である湊由利本荘市長や、秋山由利本荘市教育長などの市幹部、報道各社から多くの取材陣も詰めかけました。

遠藤章博士顕彰会 ホームページ開設

昨年年度中の開設を計画していた本顕彰会のホームページでしたが、都合により遅れ、7月中旬ごろに公開しました。費用を抑えるためアマチュアの方に制作を依頼したのですが、斬新なデザインで、シンプルながらも情報が盛り尽くされており、親しみやすい内容となっています。

トップページには顕彰碑の除幕式、生家のある法内集落、春爛漫八重桜の画像を使用しました。内容は、「遠藤博士の歩み」から生い立ちや留学などを「偉業」として掲載、「年譜」に略歴や受賞歴を掲載しました。「遠藤章博士顕彰会」のページでは、設立の趣旨、組織を掲載、「会報」には、昨年までに発行した1号と2号を掲載しました。また、「関連施設」として昨年5月に除幕した顕彰碑と八塩生涯学習センターの「遠藤章博士顕彰室」を掲載しました。

パンフレットも作製

遠藤章博士顕彰会のパンフレット(A4版三つ折り)を作りました。道の駅や公共施設などに配置予定です。活用下さい。



顕彰会のパンフレット

編集室から

▼佐々田会長は、6月3日秋田大学教育文化学部附属中学校での特別講演、秋田の「探究型授業」を深化・発展させる「知の探検者」の中で、遠藤章博士から、研究仮説・問いを繰り返し課題とし、研究方法・研究内容を深化・発展させる研究姿勢、「定説・科学的根拠等に対する問う力」を学ぶ必要があることを力説しました。秋田県は全国学力・学習状況調査で再度実施された平成19年度以来、常に全国の上位・トップ級を維持しています。それは秋田の「探究型授業」による、どの分析がなされ、今、文部科学省では全国に推奨しております。そこで秋田の「探究型授業」を一層深化・発展させるためには、秋田県の先人や現在活躍している先輩の業績に学び、内容的に、「課題解決への価値付けと定説・科学的根拠に対する問う力」を身に付けさせることの大切さを強調しました。

▼佐々田会長が11月20日、遠藤章博士と電話で直接交信しました。顕彰会運営や顕彰碑についての感謝と、御礼が改めてございました。これから、厳しい寒さが訪れることへの心配もしてくれました。佐々田会長からは、顕彰碑は東由利中生が清掃してくれること、春までシートで覆い保護すること、今年、秋田県から新米サキホコレが売り出され、佐竹知事と壇蜜さんが宣伝していること等々お話しされました。遠藤博士が来年こそは郷里に来て、郷里の光景や顕彰碑等を見たいという思いが伝わってきました。